



※本学OPAC画面

目次

■ 新入生の皆さんに	
図書館の魅力について（附属図書館長）	2
図書館の利用方法	4
■ 図書館からのお知らせ	
平成14年度附属図書館講演会・貴重書展示会報告	10
図書館統計	11
図書館活動日誌	12
■ 編集後記	12

新入生の皆さんに

図書館の魅力について

附属図書館長 富盛 伸夫

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。また在学生の方々もご進級おめでとうございます。新学年という大きな区切りを迎えて、大学生活への新たな意欲に燃えていらっしゃると思います。新しい授業に参加し、新しい友人に出会い、そして、今まで知らなかった書物・文献にふれる胸が躍るような季節ですね。附属図書館ではこのような時期に、みなさんの勉学の支援が最も効果的に進められるために、様々な工夫をこらしてお手伝いしようと心がけています。

まず、キャンパスのシンボルゾーンである回廊をまわり4階建ての図書館に足を踏み入れてください。ガラス扉を開けば、木目調の落ち着いた静かな図書館の空間が広がっています。ここではみなさんの思い思いの時間の使い方が約束されています。まず、多目的な空間、つまり自学自習のための個室やくつろげるテーブルコーナー。また、音楽や音声の編集ができる装置が備えられ、グル

ープ学習や共同作業ができる閲覧室。さらには、レポート・論文を執筆したりメールを打ったり、インターネット検索ができる情報空間。そして、すべての書架にだれもがアクセスできる完全開架式の図書空間。東京外国語大学の附属図書館は、従来の常識をおおきく越えた多機能図書館として開かれています。現代では情報とは、白い紙の上に記された文字が伝達する意味だけではありません。楽器の音や歌、壁に描かれた象形や表象、そしてもちろん電子という媒体によって世界をめぐるデジタル信号、ありとあらゆるメディア（媒体）が伝える人間の息づかい、心の動きが情報なのです。図書館は、古代都市アレクサンドリアからインターネットまで、時間と空間を往来して大きく変容しつつあるといえるでしょう。さて、東京外国語大学の社会的・歴史的使命ともいえる多元的・複層的視点は、世界の言語・文化・社会の総合的な研究に向かいつつあります。ひとつだけの



世界標準、単一の平和観、表層的な普遍主義は、このキャンパスでは通用しません。言語的コミュニケーションも通用語としての英語はもちろん、世界各地の多くの言語が対等の尊厳を持って研究され教授されているのです。附属図書館はその外語大の理念を、さらに実現可能な目標として具体的に計画化してきました。まず、図書資料の検索システムの改革です。コンピュータにのせるための、日本の、いや世界の常識であった、翻字というローマ字のような表記システムから、資料に書かれたままの文字そのものを扱うことのできるシステムへ移行しました。欧文の付加的な記号はもちろんのこと、たとえば東アジアでは中国語、ハングル、南西アジアではヒンディー、ウルドゥー、ペルシャ、アラビアなど、本学外国語学部で教えている26の言語の大半の言語に対応し、順次登録を進めています。この画期的なマルチリンガル蔵書目録検索システム（OPAC）は、インターネットを通して24時間提供されていますので、本学の多彩な図書資料を世界中から原語で検索可能です。早くも外国の研究者などから大きな反響があります。東京外国語大学は特色ある学部教育でよく知られていますが、研究大学としても2つの21世紀COE（Center Of Excellence）プログラムが採択され、まさに本学の理念と目標に沿った2分野での研究拠点化が進められようとしています。アジア・アフリカ言語文化研究所と留学生日本語教育センターとを擁して、本学はすでに世界有数の先端的研究拠点ですが、言語学・言語教育学と情報処理学の融合を提唱した「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」と、世界の研究機関

と連携・共同プロジェクトを形成しアジア・アフリカを中心とする発信型の現地語史資料デジタルハブの構築を目指す「史資料ハブ地域文化研究拠点」の2つは補完しあい総合して大学全体の将来構想を明るいものにするでしょう。折しも附属図書館は、本学の学術情報資産の発信基地として上述のノウハウを活用した多言語対応のポータルサイトを構築する目標を掲げていますので、特に後者のプロジェクトと深い連携関係を築き、協力し、図像・音声・文字などを統合的に融合するマルチリンガル・マルチメディア対応の電子図書館の構築を進めることになりました。この構想は全国でもまだ本格的には実現できていない先駆的な試みで多方面から注目されていますので、是非とも順調に進めて、みなさんの利用に供したいと考えています。

最後に強調したいことは、ネットワークが電子の流れだけではないということです。この4月から、多摩地区の国立四大学（東京学芸大学、電気通信大学、東京農工大学および本学）が連携して、学部学生も学生証だけで自由に相互の大学図書館に入館・閲覧などができるようにしました。これまでは、所属大学の図書館長の紹介状が必要であったのですが、これで合計蔵書数240万冊（本学だけでは52万冊）、雑誌タイトル数1万4千種類が共通のものとなったといえるでしょう。人間同士の交流もネットワークの最も重要な要素です。4つの大学は互いに20～30分程度の距離にあるので、この機会に是非とも隣のキャンパスと図書館を訪れてみませんか。

図書館の利用方法

図書館というと“本を読む場所”・“勉強する場所”と思われがちですが、本学の図書館は“勉強する場所”はもちろんのこと、もっといろいろなことが可能な施設、設備を整えています。『東京外国語大学附属図書館利用案内』を参照しながら御覧ください。

入館・退館について

図書館2階に入退館ゲートが設置されています。

入館には学生証が必要です。学生証をゲート右側にあるボックスに通して磁気を読み取らせるとゲートが開きます。

磁気は学生証の裏面に黒い1cm幅の部分に埋め込まれています。他のカードや磁気を帯びたものと一緒に保管すると磁気が弱まり、読み取りにくくなりますので、別々に保管してください。

学生証を忘れた場合にはゲート左手のカウンターで所定の手続きをすることで入館が可能になります。

退館する際にはゲートを押して出てください。なお退館する前に手続きしていない資料がないかどうか確認してください。手続きしていない資料を持ったまま退館ゲートを通過するとアラームが鳴り、ゲートが開きません。

また他の図書館の資料や金属類、携帯電話などで誤作動を起こす場合があります。その際にはカウンター職員にこれらの物品を預けてください。



▲2階 入館ゲート

図書館を利用する際のルールについて

図書館は多数の方と一緒に利用する空間です。そのため他の利用者の迷惑となる行為を禁止しています。御協力よろしくお願いします。

- ◎ 飲食・喫煙（館内すべて禁止です）
- ◎ 携帯電話、PHSの使用（2階リフレッシュコーナーで利用が可能です）
- ◎ 資料への書き込み、糊付き付箋紙の使用 など

また貴重品や学生証は、かならず携帯し、閲覧席に荷物を長時間放置しないように注意してください。

図書の探し方について

● OPAC（オンライン目録）による検索

当館ではWWW版OPACと館内専用OPACの2種類を提供しています。

平成15年2月現在、日本語かな、漢字、アルファベット、キリル文字、中国語簡体字、ハングル、アラビア文字による検索が可能です。

その他の非ローマン・アルファベット言語については、翻字による検索が可能です。詳しい検索方法については、WWW版の場合には「利用の手引き」を、専用端末を利用する際にはマニュアルを参照してください。

● カード目録による検索

カード目録は2階蔵書目録コーナーにあります。カード目録は書名または著者名から検索できるように編成されています。

なおカードは、ハングル・キリル文字表記の資料を除き、すべてアルファベット順に並べられていますので、検索する際には注意が必要です。

● 冊子体目録による検索

貴重図書や特殊文庫、大型コレクションなどについて、コレクション別に冊子体形式で編成された目録を2階蔵書目録コーナーに用意しています。OPACやカード目録では検索できない資料も含まれます。特定のテーマについて資料を集める際には、参照してみてください。

☆OPAC検索は便利で手軽な検索方法ですが、所蔵資料の全てを検索できるわけではありませ
んの、カード目録・冊子体目録も併せて検索してください。

雑誌の探し方について

雑誌はカード目録で検索してください。

タイトルでの検索が可能です。

図書と同じくハングル・キリル文字表記の資料を除いて、アルファベット順に整理されています。

☆大学紀要のカード目録のみ、大学名のアルファベット順に並べられています。

～ 翻字について ～

非ローマン・アルファベット言語を法則に従ってアルファベット化したものです。いろいろな法則がありますが、当館ではアメリカ議会図書館の翻字法を採用しています。



▲2階 雑誌架

図書館の主なサービス

● 閲覧

資料は原則として、すべて開架しています。直接、それぞれの配架場所へ行き、目的の資料を手にとることができます。



▲1階 書庫1層

☆当館の蔵書は、始めに「何語で記述されているか」を、次に「どんなことについて記述されているか」の順番で整理されています。

～ 書庫の利用について ～

入庫制限はありません。自由に入ることができます。ただし集蜜書架のため、1ブロック1列しか開きませんので、利用の際には、他の人が通路にいないかどうかを確認してから、ボタンを押してください。

● 貸出

貸出希望資料と学生証を持って2階カウンターまでお越しください。なお3・4階に配架してある図書は、自動貸出機による貸出処理が可能です。

☆資料にバーコードの貼付がない場合には、記帳台備付の貸出証に1資料につき1枚、必要事項を記入する必要があります。



▲2階 自動貸出機

● 返却・延長

返却は2階カウンターで受け付けています。返却ポストによる投函も可能です。

貸出期間の延長を希望する場合には、返却日前に延長希望資料と学生証を持って、2階カウンターまでお越しください。次に利用を希望されている方がいない場合に限り、延長が可能です。

● 予約

貸出中の資料が返却されたときに、優先的に利用できるサービスです。記帳台備付の予約申込票に必要事項を記入の上、学生証と一緒にカウンターまでお持ちください。

● レファレンス

資料の検索や他大学図書館の資料の利用方法など、図書館の利用に関する総合案内を行っています。グループ／個室閲覧室の利用申請についても受け付けています。

図 書 館 で で き る こ と

●コンピュータが利用できます

情報処理センターより提供されたネットワーク端末が館内に約200台設置されています。

インターネット接続や電子メールの送受信を始め、レポートや論文の作成が可能です。

また、音声・画像・映像処理の可能な端末もあります。

☆利用には情報処理センターから交付されるアカウントが必要です。



▲4階 PCゾーン

●コンピュータ利用に関して専用のカウンターで問い合わせができます

4階に情報処理センターサービスカウンターがあります。スタッフが常駐し、ソフトや機材の使用方法など、コンピュータ利用に関する質問を受付けています。

●自分のパソコンでインターネット接続ができます

館内の閲覧席に自由接続ポートが設置されており、自分のパソコンからインターネット接続が可能です。利用の前に4階カウンターで手続きが必要です。



▲3階 個室閲覧室

●グループで利用できる部屋があります

4階のグループ閲覧室では、3～8人までのグループによる利用が可能です。音声・画像・映像の処理可能な設備があり、1名での利用も可能です。

●1人で集中して勉強することができます

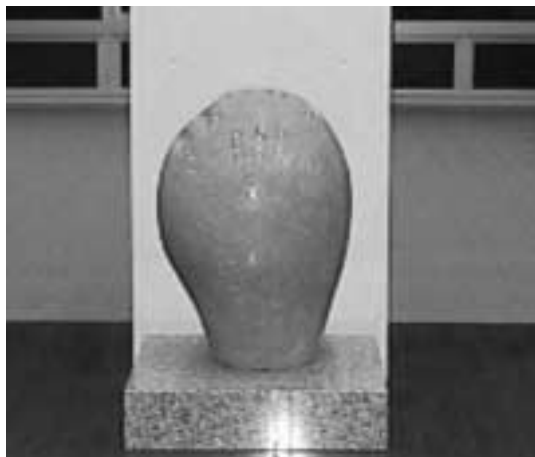
3階に壁に囲まれた1人用の閲覧デスクを設置した個室閲覧室があります。

☆グループ／個室閲覧室ともに、2階カウンターで利用申請が必要です。

●資料の複写が可能です

2階コピーコーナーに、コイン式1台、プリペイドカード式2台の合計3台のコピー機を設置しています。利用についてはセルフサービスとなっています。なお館内での複写を行う際には著作権法等の法令を順守する必要があります。コピー機に注意事項を掲示してありますので、参照し、必要な手続きをお願いします。

館内の美術品紹介



●「張る形」 和田 順乃作

場所：2階エントランスホール

「貝殻みたい」という感想をよく聞きます。
滑らかな表面をなでたくなるのか、触っている方が多い作品です。



●"Scarab Island Meditation" by Lita Albuquerque

場所：3～4階吹き抜け壁画

同じ詩を、本学で履修できる26ヶ国語を使用して表現しています。時間帯によって青い色や影の変化を楽しむ作品です。

●「浮女」 伊藤 高麗子作

場所：2階入館ゲート脇

「自由に伸びやかなイメージを感じる」と、感想を頂いたことがあります。じっくりと鑑賞する方の多い作品です。

☆この他にも美術品が館内に展示されています。気分転換に館内の美術品もご鑑賞ください。



図書館からの耳より情報

● OPAC利用者サービスの正式運用開始について

平成15年1月より試行運用していたOPACの利用者サービスを、4月から正式に運用を開始します。正式運用により、学内外を問わずインターネットから自由に接続できるようになります。

(URL <http://www-lib.tufs.ac.jp/opac/index.html>)

サービスの内容は以下のとおりです。

①予約／貸出状況照会

予約／貸出している資料について、返却期限等を確認することができます。

②パスワード等変更

パスワードおよび、連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）を変更できます。



▲OPAC 予約／貸出状況画面

☆利用するためには認証用のパスワードが必要です。パスワードの取得方法については館内の掲示を御覧ください。

● 図書館ガイダンスのお知らせ

以下のとおり図書館利用についてのガイダンスを実施する予定です。

4月：新入生オリエンテーション

5月：OPAC講習会

6月：情報リテラシー授業の情報検索（前期新入学生のみ）

☆詳しい日程と内容、後期のガイダンスについては、館内に掲示します。

平成14年度附属図書館講演会・貴重書展示会報告

附属図書館第3回講演会報告

作家の島田雅彦氏をお招きし、平成14年10月30日(水)に本学研究講義棟1階マルチメディアホールで「群島論―民族移動 太古から現代まで―」と題した講演会を開催しました。

講演は、数百万年前の人類発祥以来の人類の大陸間の大移動(グレートジャーニー)から、現代の民族的な移動までを対象とした民族移動の痕跡を跡付ける内容で、大変好評でした。

附属図書館所蔵インド関係貴重書紹介

平成14年10月28日(月)から11月1日(金)の1週間の間、「西洋を中心としたインド研究史資料―16世紀から19世紀まで―」と題する特別展示を図書館1階のギャラリーにて開催しま

した。

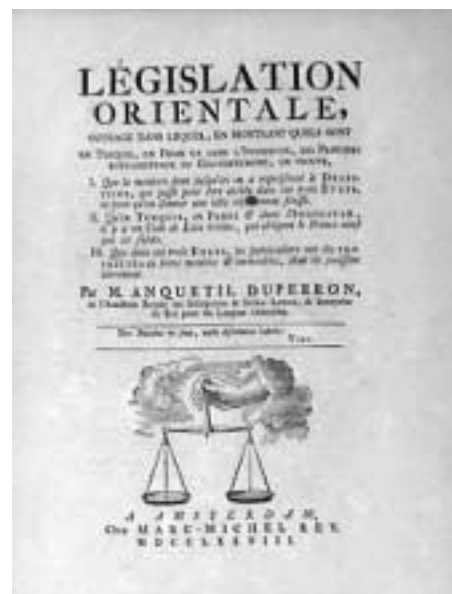
16世紀から19世紀のヨーロッパで展開されたインド学の流れの一端を紹介した展示は、盛況のうちに終了しました。



▲『プレーム・サーガル』

The Prem Sagar, or the ocean of love / Lallu Lal
(請求記号 K/912-8/L199)

※展示資料の一部です



▲『東洋法制史』

Législation orientale / par Anquetil Duperron
(請求記号 N/322/502096)

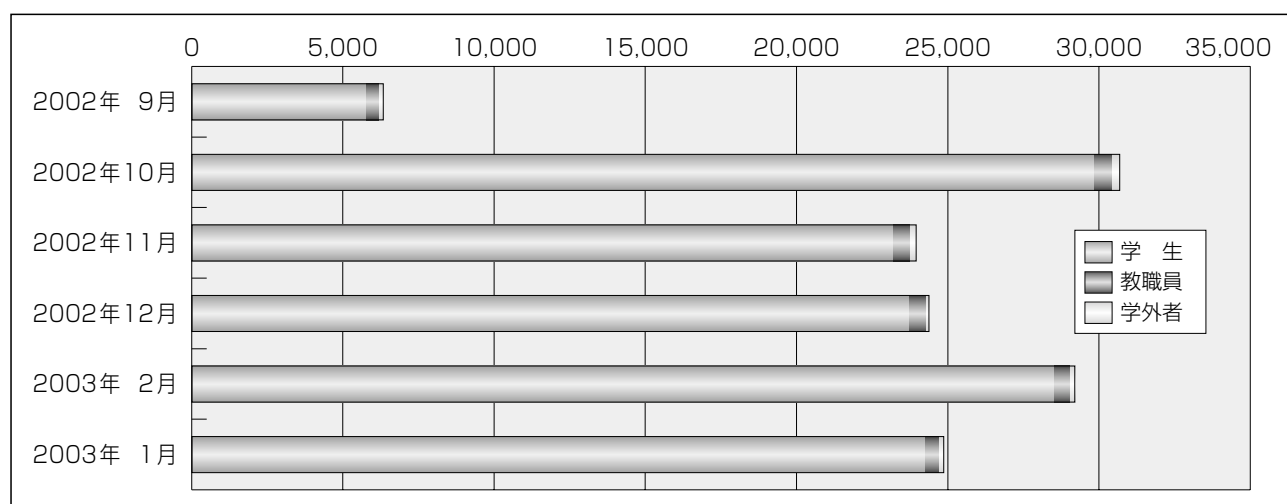
☆展示会のパンフレットのPDF版を当館HP上でご覧になることができます。

<http://www.tufts.ac.jp/common/library/guide/shokai/tenji3.pdf>

図書館統計（月別入館者統計・貸出冊数統計）

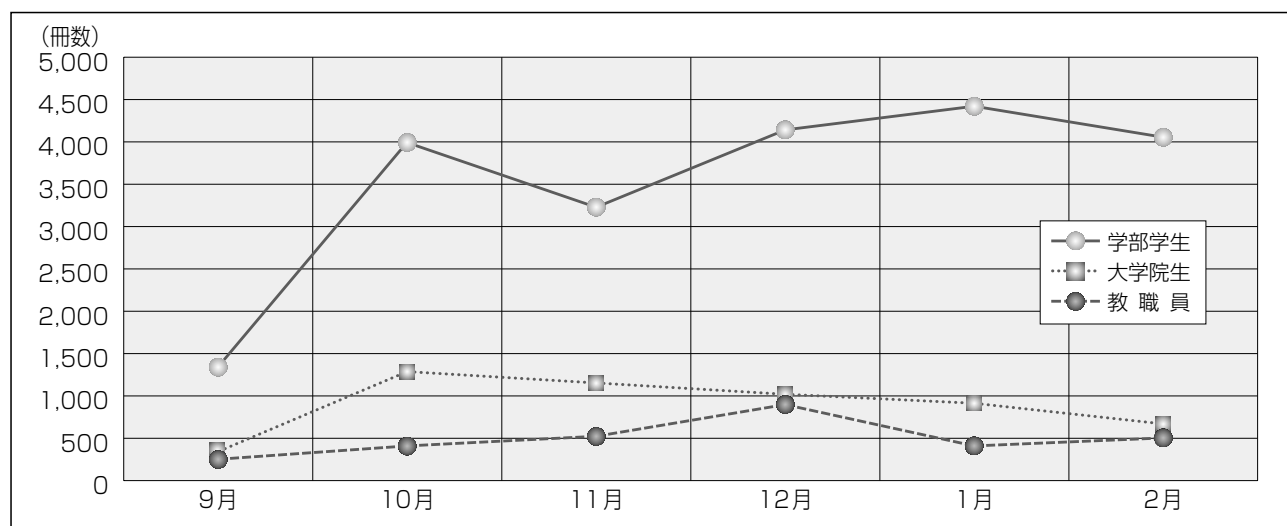
月別入館者統計

	2002年 9月	2002年10月	2002年11月	2002年12月	2003年 1月	2003年 2月
学 生	5,751	29,828	23,179	23,699	28,488	24,223
教 職 員	425	598	560	552	530	486
学 外 者	165	270	225	136	192	167
合 計	6,341	30,696	23,964	24,387	29,210	24,876



貸出冊数統計

	2002年 9月	2002年10月	2002年11月	2002年12月	2003年 1月	2003年 2月
学部学生	1,339	3,993	3,229	4,141	4,419	4,053
大学院生	340	1,286	1,149	1,017	911	666
教 職 員	249	406	521	897	409	503
合 計	1,928	5,685	4,899	6,055	5,739	5,222



10月 2日 (水)	平成14年度第3回図書館委員会
10月 4日 (金)	国立情報学研究所アラビア語目録小委員会 (1名出席)
10月16日 (水)	平成14年度第3回選書委員会
10月28日 (月) ～11月1日 (金)	平成14年度貴重書展示会 (インド関係図書)
10月30日 (水)	平成14年度附属図書館講演会 (島田雅彦氏)
11月20日 (水)	平成14年度第4回図書館委員会
12月 5日 (木)	国立大学図書館協議会東京地区協議会研修会 (於電通大、本学)
12月 6日 (金)	平成14年度第4回選書委員会
12月27日 (金)	COE「デジタルアーカイブズ」第1回仕様策定委員会
1月10日 (金)	COE「デジタルアーカイブズ」第2回仕様策定委員会
2月14日 (金)	平成14年度第5回図書館委員会
	国立情報学研究所アラビア語目録小委員会 (1名出席)
2月19日 (水)	平成14年度第5回選書委員会
2月28日 (金)	国立国会図書館関西館主催アジア関係機関懇談会 (1名出席)

編 集 後 記

館報カスタリア第5号をお届けします。新入生の方々にとって、図書館はこれからの学生生活に欠くことのできない施設です。「図書館利用案内」でもその基本的な使い方を説明していますが、図書館ホームページや、情報リテラシーの科目中の図書館が担当する授業、等々の諸情報を活用して図書館に馴染んでいただきたいと思います。

さて図書館に一步足を踏み入ると、多様な言語で書かれた図書の数々とともに、情報コンセントを配したデスクや、豊富なコンピュータ環境に驚かれることでしょう。学生1人当たりでは国立大学中最大規模のこのIT環境は、昔からあったものでなく、2000年の移転・新館オープンとともに実現したものです。さらに附属図書館OPACも多言語機能を備えるように改善を加えました。まだ登録データ数・オリジナル・スク립ト登録可能言語の範疇など十分とはいえませんが、本学の研究・学習を支えるべく鋭意努力中です(詳細についてはカスタリア第4号を参照のこと)。

ところで本学では平成14年度に21世紀COE(文部科学省「研究拠点形成費補助金」)が2件採択されました。「研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成」を目的とするこのCOEと、図書館とは設置目的が異なり、全てが重なっている訳ではありません。けれども、図書の整理・保管、デジタルライブラリーの構築等々の目的が合致する部分では、協力しこれを支援していくことでしょう。

来るべき独立行政法人化など、今、国立大学には急激な変動の波が訪れようとしています。図書館も、大学の変動や発展とともに、大きく変わっていこうとしています。図書館へのご意見・ご要望をどんどんお寄せください。

Castalia : 東京外国語大学附属図書館報 第5号

2003年3月31日発行

発 行 : 東京外国語大学附属図書館 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

電 話 : 042-330-5193 ホームページ : <http://www.tufs.ac.jp/common/library/index-j.html>

印 刷 : 三鈴印刷株式会社